

日本航空株式会社 2025年3月期 第2四半期 決算説明会



JAPAN AIRLINES

メジャーリーグベースボールの商標及び著作権は、メジャーリーグベースボールの許可に基づいて使用しています。詳しくは MLB.com を参照ください。



すべての夢に
羽ばたく
チャンス。

892,440km

大谷翔平選手をデザインした特別塗装機「DREAM SHO JET」が9月29日（日）より就航

2024年11月1日

代表取締役社長執行役員グループCEO 鳥取三津子

代表取締役副社長執行役員グループCFO 齋藤祐二

JALはメジャーリーグベースボールの
オフィシャルスポンサーです。



高校野球 → メジャーリーグ現在 まで



APEX
WORLD CLASS



Best Wi-Fi in Eastern
Asia 2024 APEX



SKYTRAX
2024年度
World's Best
Premium Economy Class



SKYTRAX
World Airline Star
Rating
5-Star



1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細

3. 参考資料



ESG社外評価



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

Member of
Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability Asia
Pacific Index 2年連続選定



気候変動「A-」評価
(2023年度)



当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(2) Q2(7月-9月)の実績はQ2累計実績(4月-9月)からQ1実績(4月-6月)を差し引いて算出しております。

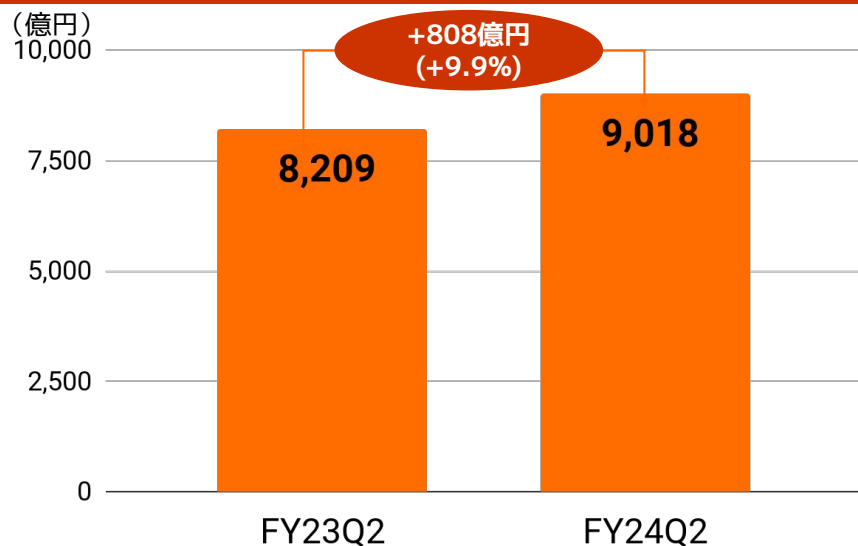
(3) LCC=Low Cost Carrier (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

2025年3月期 第2四半期 連結業績概要

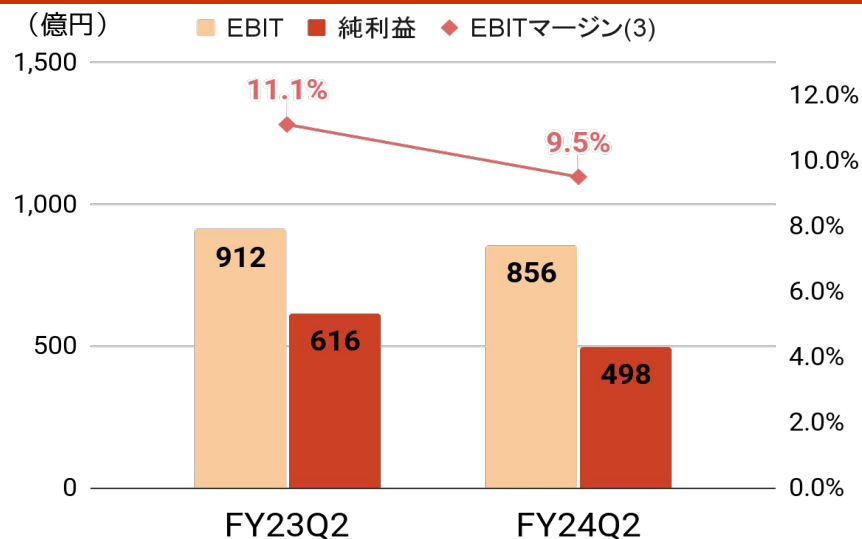


- ✓ 好調なインバウンドや日本発業務需要の回復による国際旅客収入を中心に、対前年で増収
- ✓ 事業構造改革の進展による非航空事業の増益等によりQ2単独では対前年で増益
- ✓ 通期の連結業績予想および配当金予想額の変更は無く、中間配当は1株当たり40円で決定

売上収益



EBIT⁽¹⁾/純利益⁽²⁾



燃油・為替市況実績

	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	98.2	98.0	▲0.2%
ドバイ原油 (USD/bbl)	79.8	83.6	+4.8%
為替 (円/USD)	138.7	154.0	+11.0%

運航諸元/ASK

	FY24Q2 (前年同期比)		
	国際線	国内線	合計
フルサービスキャリア	+4.2%	+0.1%	+2.4%
LCC	+35.4%	▲14.1%	+32.0%
合計	+8.7%	▲0.2%	+5.2%

(1) EBIT=財務・法人所得税前利益 (税引前利益から利息等の財務収支を除いたもの) (2) 純利益=親会社の所有者に帰属する四半期利益 (3) EBITマージン=EBIT/売上収益

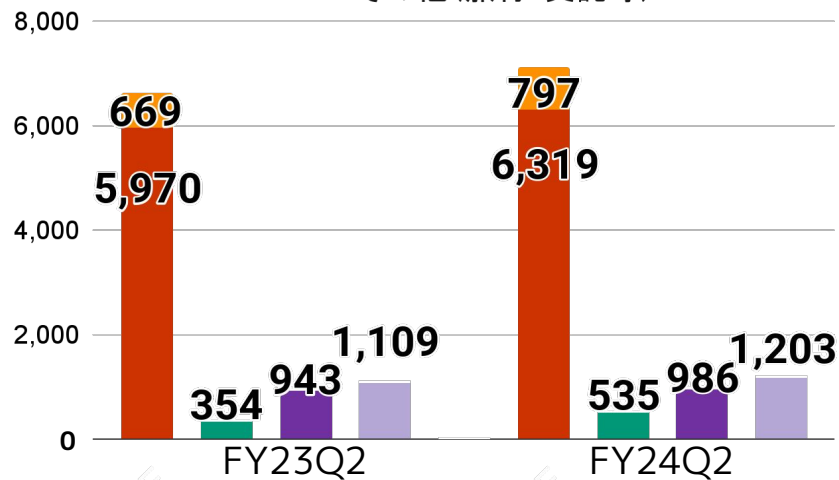
2025年3月期 第2四半期 セグメント別実績



- ✓ FSCは国際旅客・貨物がけん引し、対前年で売上収益が伸長
- ✓ LCCはZIPAIRが引き続き好調、SPRING JAPANも中国需要の回復により黒字化を達成し、EBITが伸長
- ✓ マイル/金融・コマー스는コマー스事業がけん引して対前年でEBITが伸長
- ✓ その他はQ2に一時的な評価損が発生するも、受託事業がけん引して実質的には対前年で増益

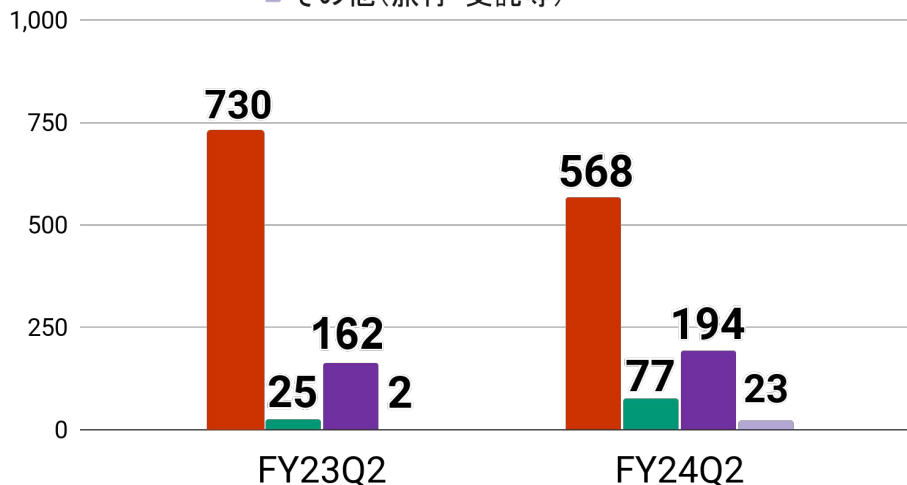
セグメント別 売上収益

(億円) ■ FSC(貨物) ■ FSC(旅客) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스 ■ その他(旅行・受託等)



セグメント別 EBIT

(億円) ■ FSC(フルサービスキャリア) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스 ■ その他(旅行・受託等)



(単位：億円) FY24Q2単独		FSC (フルサービスキャリア)		LCC	マイル/金融・コマー스	その他 (旅行・受託等)
売上収益		3,361 (旅客)	409 (貨物)	288	525	656
前年同期差		+127	+83	+83	+21	+58
EBIT		489		55	105	▲14
前年同期差		+4		+15	+33	▲16

注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。

直近の当社の取り組み



フルサービスキャリア

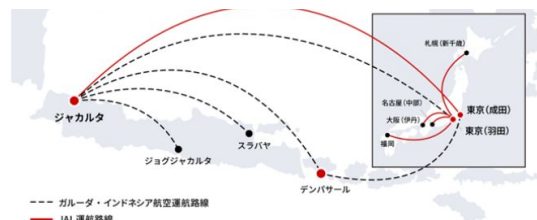


国際線の競争力強化に向けた主な取り組み

- 10月24日より、米州に続き欧州線にも最新鋭機材・エアバスA350-1000就航
羽田=ロンドン線（JL043/044）



- 2025年4月より、ガルーダ・インドネシア航空との共同事業を開始予定



- 10月1日より、無料Wi-Fiサービスを開始
ビジネス/ファーストクラスは時間無制限、エコノミー/プレミアムエコノミークラスは1時間まで利用無料



SAFの取り組み

- 法人へのオフセット手段「JAL Corporate SAF Program」
法人のお客さまのScope3削減に貢献

貨物郵便

貨物専用機事業拡大成長に向けた取り組み

- 国際貨物
767貨物便の大連線増便を決定
（10月27日より週2便体制）



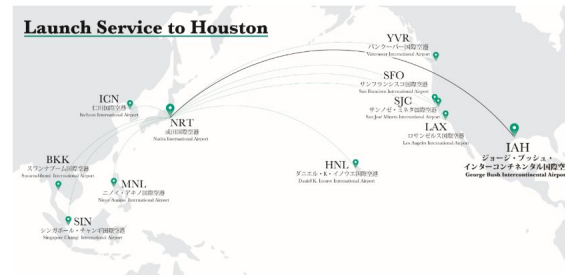
- 国内貨物
A321貨物便が8月1日より羽田へ就航
深夜～早朝にかけて高速鮮度輸送を実現



LCC

拡大成長に向けた主な取り組み

- ZIPAIR
3月4日よりヒューストンに就航。就航地点は10地点まで増加



- SPRING JAPAN
上海（浦東）・北京・大連等大都市へ就航



1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細
3. 参考資料

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

科目別連結経営成績



(単位：億円)	累計				単独		
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	前年同期比	FY24Q2	FY23Q2	
						同期差	同期比
売上収益	8,209	9,018	+808	+9.9%	4,777	+382	+8.7%
フルサービスキャリア	6,656	7,101	+445	+6.7%	3,764	+189	+5.3%
国際旅客収入	3,144	3,405	+260	+8.3%	1,745	+76	+4.6%
国内旅客収入	2,750	2,804	+53	+2.0%	1,557	+26	+1.7%
貨物郵便収入	669	797	+128	+19.2%	409	+83	+25.6%
その他収入	92	95	+2	+3.2%	52	+3	+7.8%
LCC旅客収入	316	453	+137	+43.4%	243	+60	+33.3%
マイル/金融・コマース、 その他（旅行・受託等）等 (1)	1,236	1,462	+226	+18.3%	769	+132	+20.7%
営業費用	7,366	8,243	+876	+11.9%	4,181	+345	+9.0%
燃油費	1,700	1,923	+223	+13.1%	978	+72	+8.0%
燃油費以外	5,666	6,319	+652	+11.5%	3,202	+272	+9.3%
その他収支 (2)	69	81	+12	+17.2%	39	▲0	▲0.7%
EBIT	912	856	▲55	▲6.1%	635	+37	+6.2%
EBITマージン(%)	11.1%	9.5%	▲1.6pt	-	13.3%	▲0.3pt	-
純利益	616	498	▲117	▲19.1%	358	▲27	▲7.0%
RPK(百万人キロ)	35,510	38,144	+2,634	+7.4%	19,991	+1,435	+7.7%
ASK(百万席キロ)	45,698	48,087	+2,388	+5.2%	24,441	+1,145	+4.9%
EBITDAマージン(%) (3)	20.1%	18.0%	▲2.0pt	-	21.4%	▲0.5pt	-

連結業績詳細は、全社連結科目別に表したものであり、報告セグメント別の売上収益ではありません。

(1) マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマース・旅行・受託事業収入等 (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

(3) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益 EBITDA=EBIT+減価償却費

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

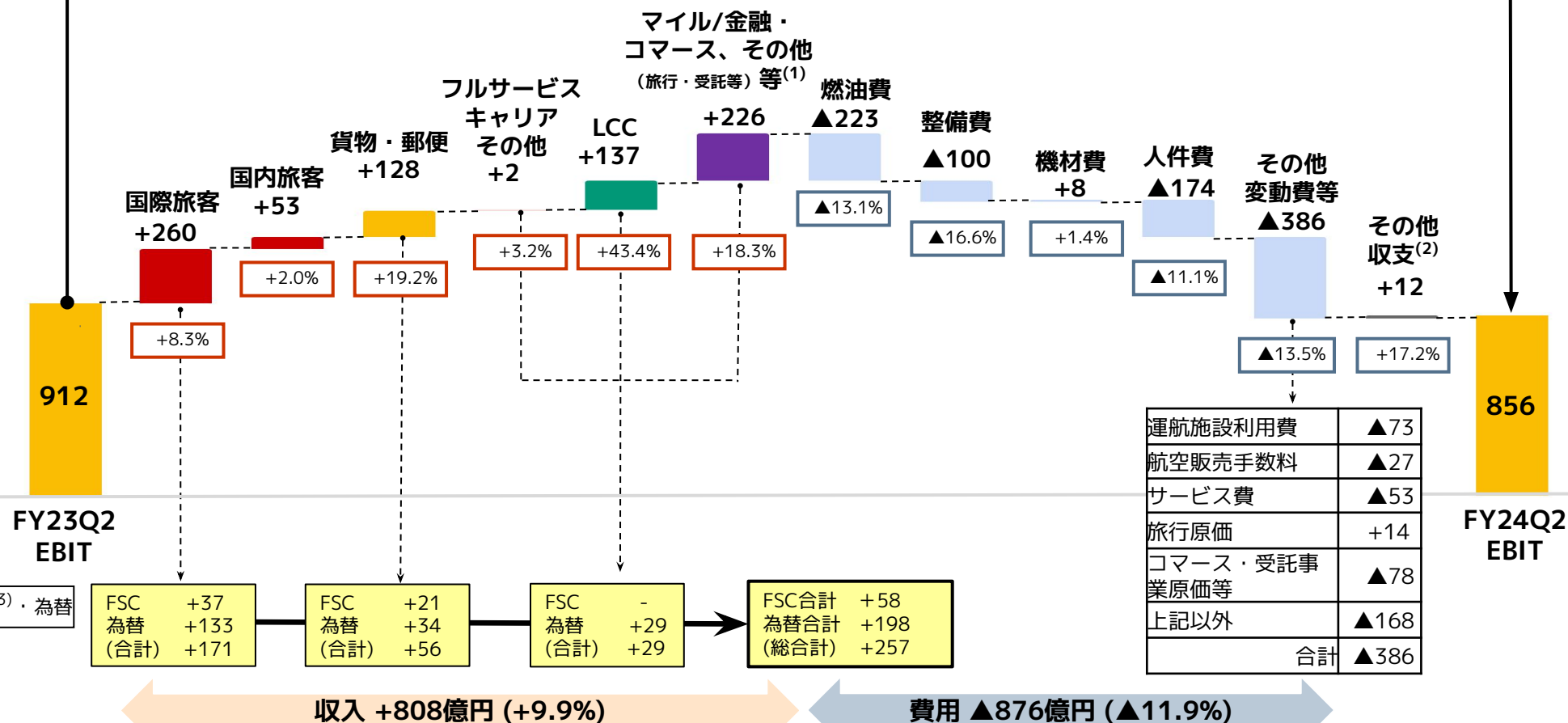
EBIT増減の科目別推移（収入／費用）



RPK前年同期比： +7.4%
ASK前年同期比： +5.2%

▲55億円

+は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する
（億円）



(1) マイル/金融・コマー্স、その他（旅行・受託等）等=マイル提携・コマー্স・旅行・受託事業収入等
(2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) FSC=Fuel Surcharge

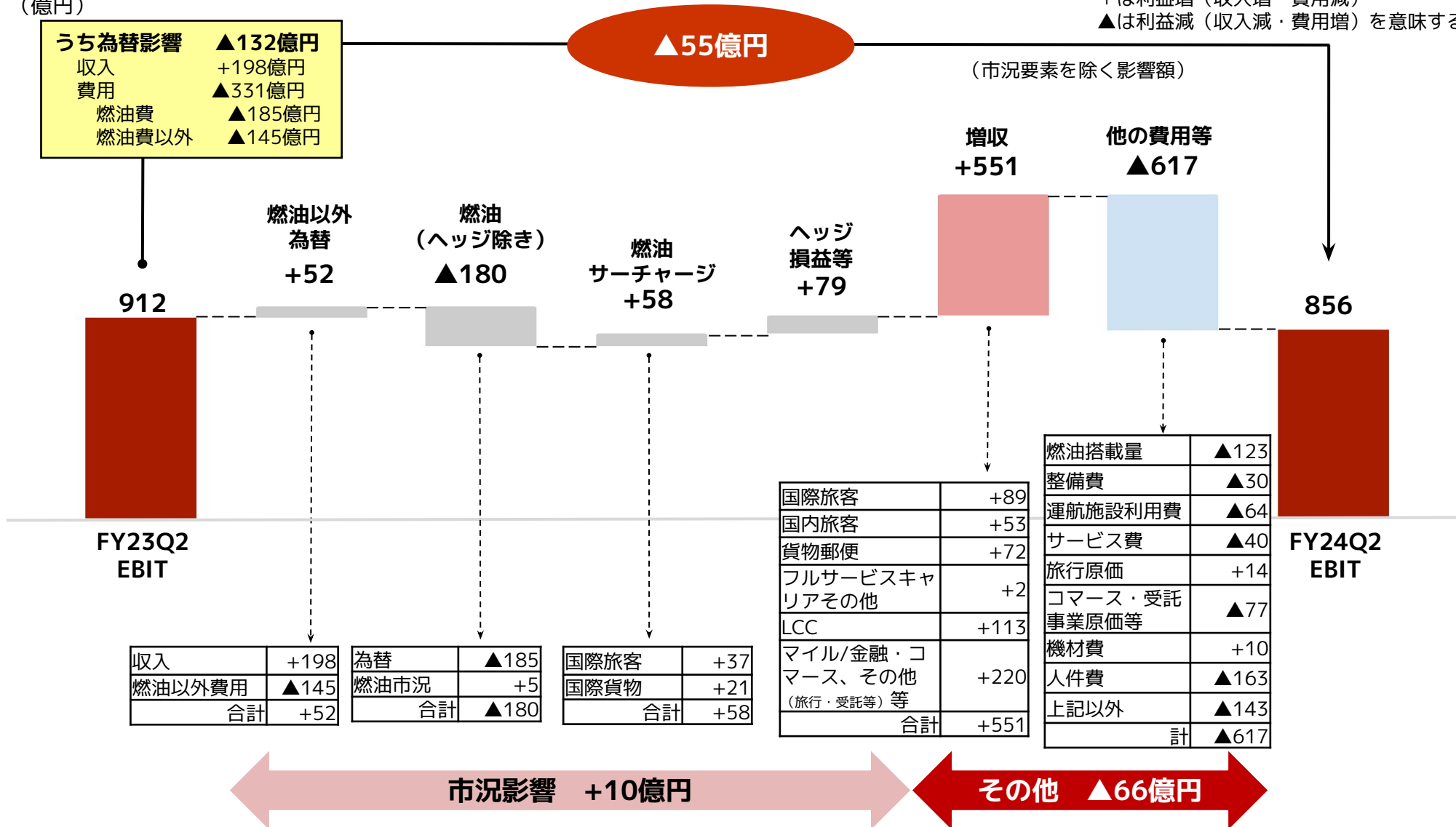
2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

EBIT増減の推移（市況／その他）



（億円）

+は利益増（収入増・費用減）
▲は利益減（収入減・費用増）を意味する



2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

国際旅客（フルサービスキャリア）



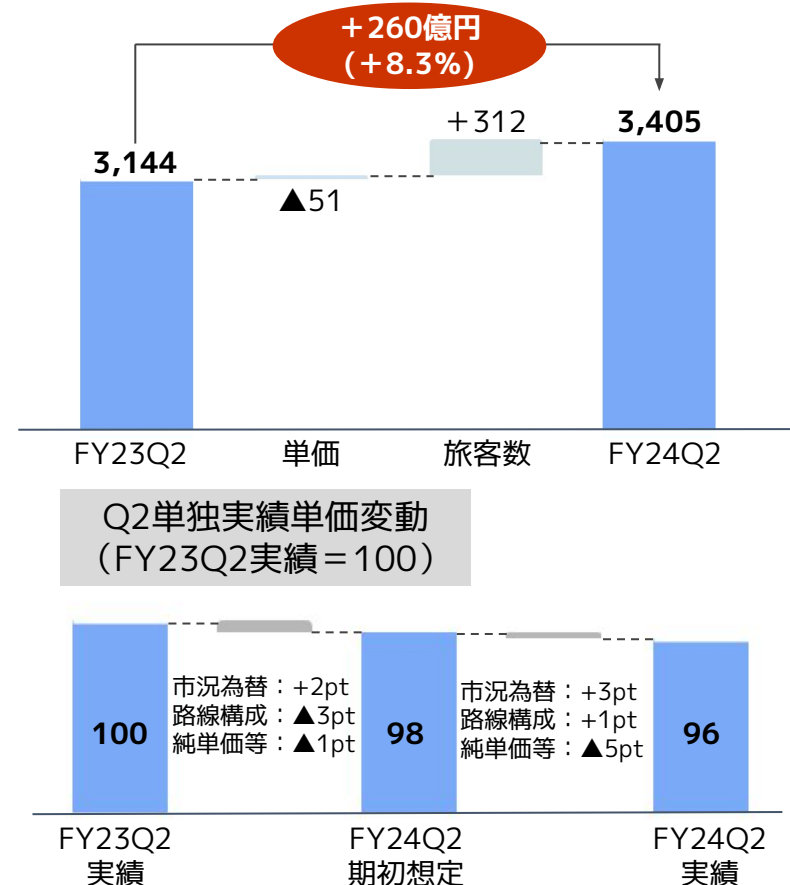
- ✓ 上期は回復傾向にある日本発需要と旺盛なインバウンド需要を取り込み、旅客数が伸長
- ✓ 下期は回復する高単価の日本発業務需要や東南アジアを中心に更なるインバウンド需要を取り込む

国際旅客事業の状況

国際旅客事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	3,144	3,405	+8.3%	1,745	+4.6%
有償旅客数（千人）	3,294	3,621	+9.9%	1,870	+8.6%
RPK（百万人キロ）	18,817	20,282	+7.8%	10,419	+6.3%
ASK（百万席キロ）	23,738	24,729	+4.2%	12,513	+4.5%
有償座席利用率（%）	79.3%	82.0%	+2.7pt	83.3%	+1.4pt
単価（円）（1）	95,443	94,030	▲1.5%	93,300	▲3.7%
イールド（円）（2）	16.7	16.8	+0.5%	16.8	▲1.6%
ユニットレベニュー（円）（3）	13.2	13.8	+4.0%	13.9	+0.1%

- (1)単価 = 旅客収入 / 有償旅客数
 (2)イールド = 旅客収入 / RPK
 (3)ユニットレベニュー = 旅客収入 / ASK

国際旅客収入の推移（億円）



2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

国内旅客（フルサービスキャリア）



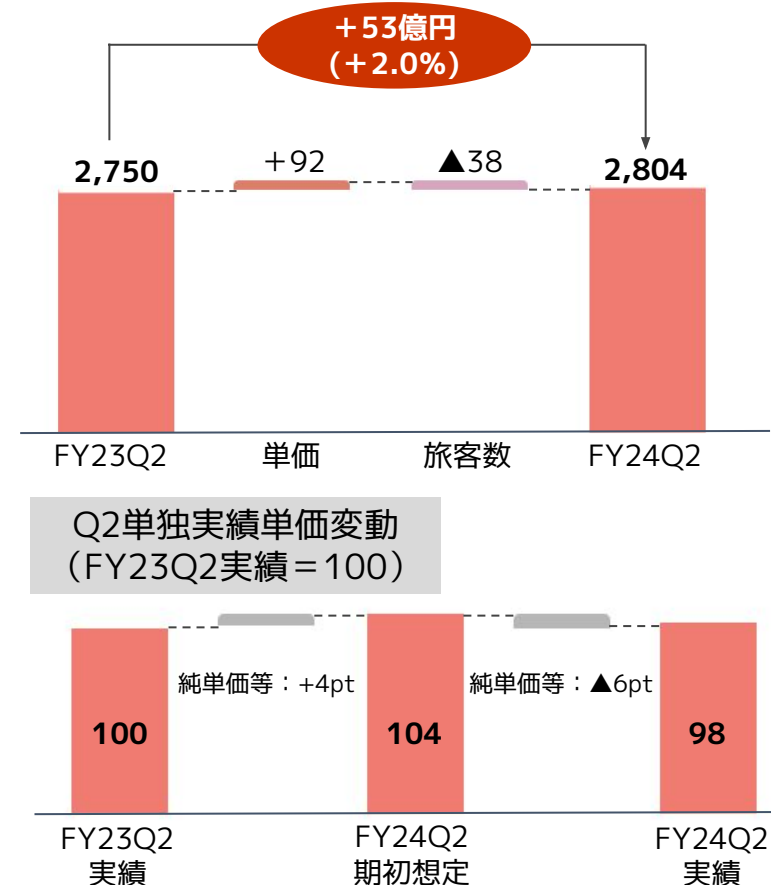
- ✓ 上期は低需要便を中心とした需要喚起策により、団体旅客需要は回復傾向
- ✓ 下期は需要喚起施策により第2四半期の傾向が継続し、旅客数が戻る見込み

国内旅客事業の状況

国内旅客事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	2,750	2,804	+2.0%	1,557	+1.7%
有償旅客数（千人）	17,526	17,286	▲1.4%	9,267	+3.7%
RPK（百万人キロ）	13,302	13,221	▲0.6%	7,157	+4.8%
ASK（百万席キロ）	17,640	17,654	+0.1%	8,965	+0.4%
有償座席利用率（%）	75.4%	74.9%	▲0.5pt	79.8%	+3.3pt
単価（円）(1)	15,696	16,224	+3.4%	16,803	▲1.9%
イールド（円）(2)	20.7	21.2	+2.6%	21.8	▲2.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	15.6	15.9	+1.9%	17.4	+1.3%

- (1) 単価=旅客収入/有償旅客数
 (2) イールド=旅客収入/RPK
 (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

国内旅客収入の推移（億円）



2025年3月期 第2四半期実績および第3四半期見通し

国際・国内旅客（フルサービスキャリア）の需要動向

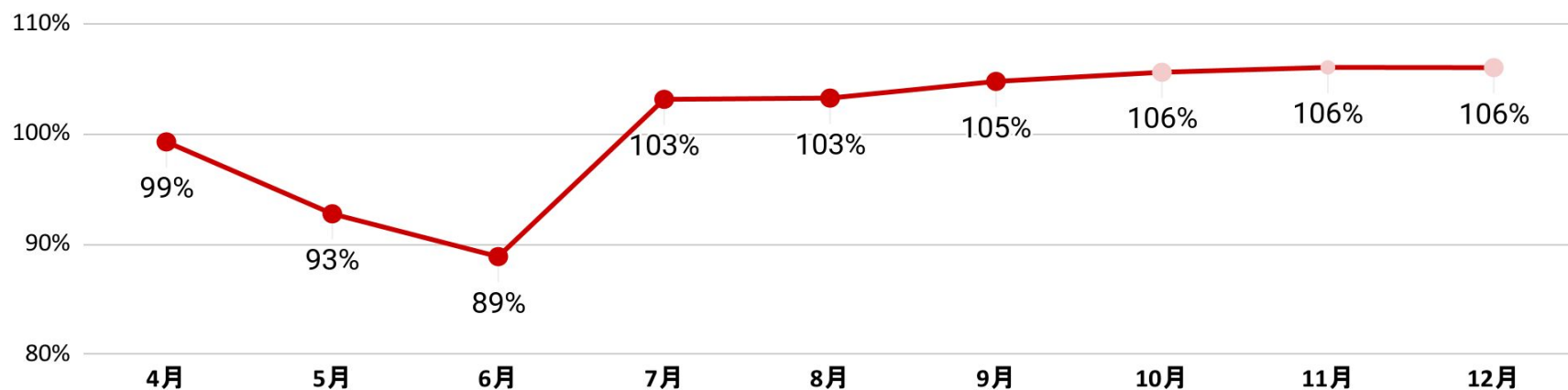


旅客数（FY2023比）

国際線



国内線



実績

見通し

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細 貨物



- ✓ 国際貨物は、自社貨物機の活用、需要旺盛な北米向けの単価向上や医薬品等の高付加価値貨物の獲得強化により増収。下期も日発欧米向けの単価向上・アジア発の物量増により増収をめざす
- ✓ 国内貨物は、ヤマトホールディングスとの貨物機が8月から羽田に就航（1日13便体制へ）下期もトラックからの転移需要等、需要動向の変化に注視し、物量獲得をめざす

国際貨物事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
貨物収入（億円）	506	605	+19.5%	311	+28.6 %
有効貨物トンキロ（百万）	2,118	2,633	+24.3%	1,336	+25.3 %
有償貨物トンキロ（百万）	1,271	1,381	+8.7%	693	+8.5 %
貨物輸送重量（千トン）	212	255	+20.0%	128	+20.3 %
重量単価（円/kg）	238	237	▲0.4%	242	+6.9 %

国内貨物事業	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
貨物収入（億円）	97	135	+38.1%	69	+43.2 %
有効貨物トンキロ（百万）	810	842	+4.0%	432	+5.3 %
有償貨物トンキロ（百万）	140	147	+5.3%	79	+12.2 %
貨物輸送重量（千トン）	148	157	+6.4%	85	+13.4 %
重量単価（円/kg）	66	86	+29.9%	82	+26.3 %

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細 LCC



- ✓ ZIPAIRは引き続き好調
- ✓ SPRING JAPANは8月以降、需要の大きい北京・上海（浦東）への就航により通期で黒字化を見込む

ZIPAIR 	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	249	351	+40.6%	178	+33.2%
有償旅客数（千人）	541	680	+25.6%	348	+17.3%
RPK（百万人キロ）	2,990	3,922	+31.2%	2,020	+22.3%
ASK（百万席キロ）	3,765	4,822	+28.1%	2,479	+21.1%
有償座席利用率（%）	79.4%	81.3%	+1.9pt	81.5%	+0.8pt
単価（円）(1)	46,105	51,598	+11.9%	51,231	+13.6%
イールド（円）(2)	8.4	9.0	+7.2%	8.8	+8.9%
ユニットレベニュー（円）(3)	6.6	7.3	+9.8%	7.2	+9.9%

SPRING JAPAN 	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期比	FY24Q2	前年同期比
旅客収入（億円）	66	101	+53.9%	64	+33.5%
有償旅客数（千人）	390	537	+37.6%	278	+14.2%
RPK（百万人キロ）	400	717	+79.4%	394	+47.1%
ASK（百万席キロ）	553	880	+59.0%	482	+38.8%
有償座席利用率（%）	72.2%	81.5%	+9.3pt	81.8%	+4.7pt
単価（円）(1)	16,965	18,969	+11.8%	23,331	+17.0%
イールド（円）(2)	16.6	14.2	▲14.2%	16.4	▲9.3%
ユニットレベニュー（円）(3)	12.0	11.6	▲3.2%	13.5	▲3.8%

(1)単価=旅客収入/有償旅客数 (2)イールド=旅客収入/RPK (3)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

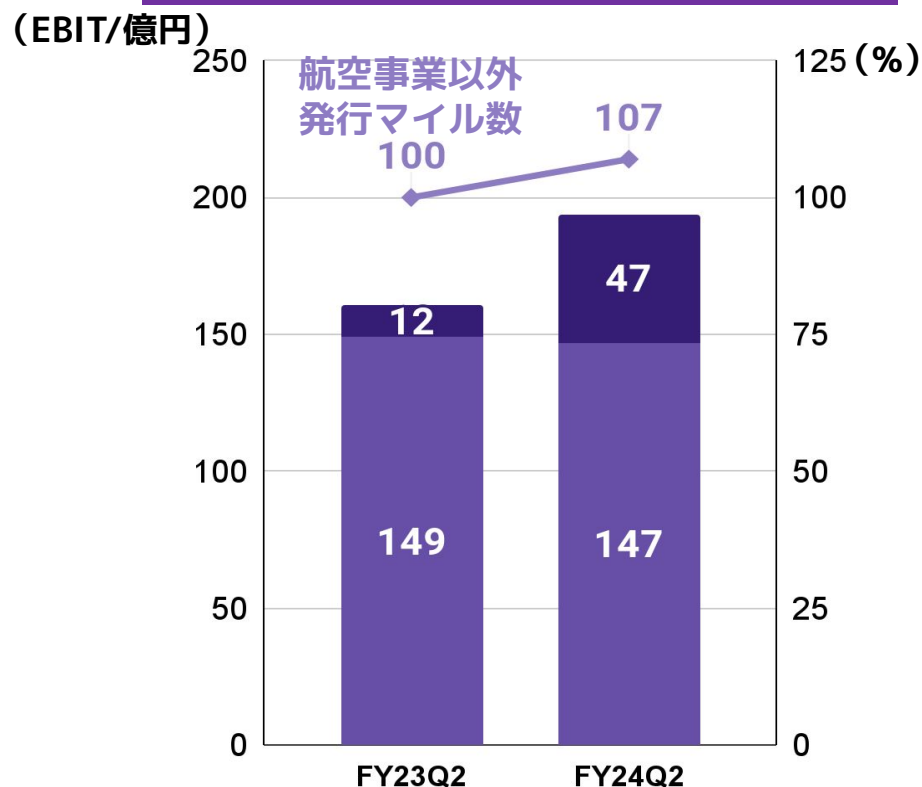
2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

マイル/金融・コマース、その他（旅行・受託等）



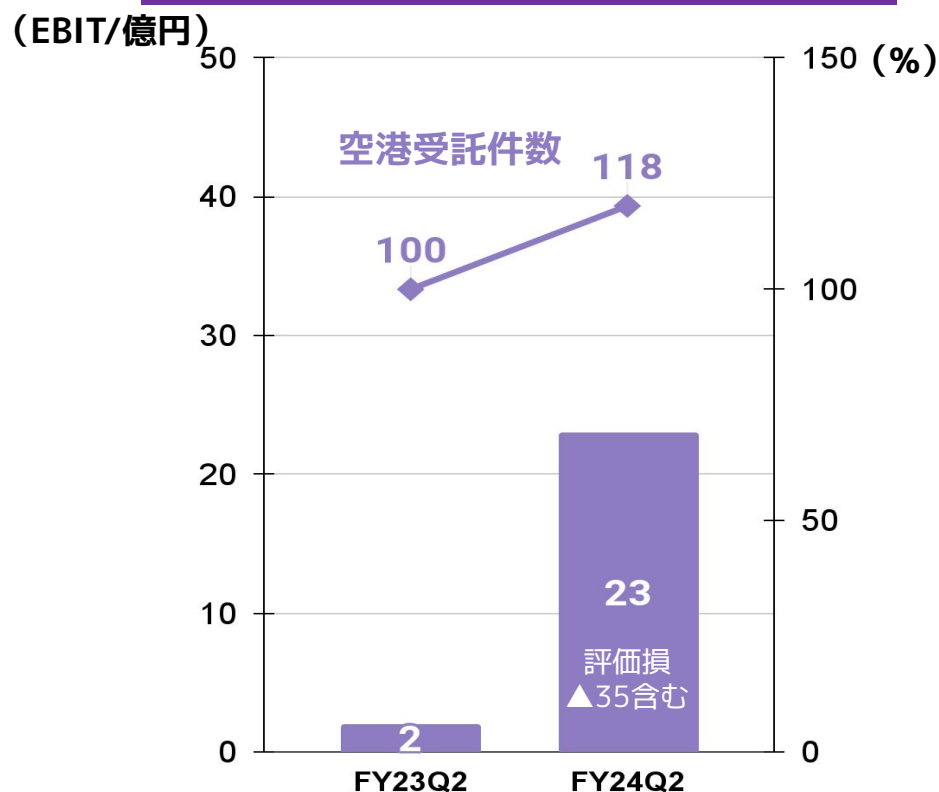
- ✓ マイル/金融・コマース事業では、マイル発行数の伸長およびJALUXの増収により、対前年で増益
- ✓ その他（旅行・受託等）では、グランドハンドリング受託が堅調、利益を伸長

マイル/金融・コマース事業EBIT およびマイル発行数の増減



◆ 航空事業以外での発行マイル数 (FY23Q2=100)
 ■ コマース 事業利益 ■ マイル/金融 事業利益

その他（旅行・受託等）EBIT および空港受託件数の増減



■ 利益 ◆ 受託件数 (FY23Q2=100)

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細 費用詳細



主要営業費用項目

(単位：億円)	累計				単独		
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	前年同期比	FY24Q2	FY23Q2	
						同期差	同期比
燃油費	1,700	1,923	+223	+13.1%	978	+72	+8.0%
運航施設利用費	352	425	+73	+21.0%	219	+40	+22.5%
整備費	602	703	+100	+16.6%	340	+30	+9.8%
航空販売手数料	124	151	+27	+21.9%	75	+13	+21.9%
サービス費(1)	221	274	+53	+23.9%	144	+26	+22.8%
他変動費(2)	1,041	1,172	+131	+12.6%	628	+76	+13.8%
機材費	615	606	▲8	▲1.4%	307	+4	+1.4%
人件費	1,577	1,752	+174	+11.1%	883	+82	+10.3%
その他の費用	1,131	1,232	+100	+8.9%	603	▲1	▲0.2%
営業費用合計	7,366	8,243	+876	+11.9%	4,181	+345	+9.0%

FSC (フルサービスキャリア) ユニットプロフィット

(単位：円)	累計			単独	
	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差	FY24Q2	前年同期差
UR (ユニットレベニュー) (3)	14.3	14.7	+0.4	15.4	+0.1
UC (ユニットコスト) (4)	12.6	13.6	+0.9	13.4	+0.3
UP (ユニットプロフィット) (5)	1.6	1.1	▲0.5	2.0	▲0.3

(1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・コマース・受託事業原価 など

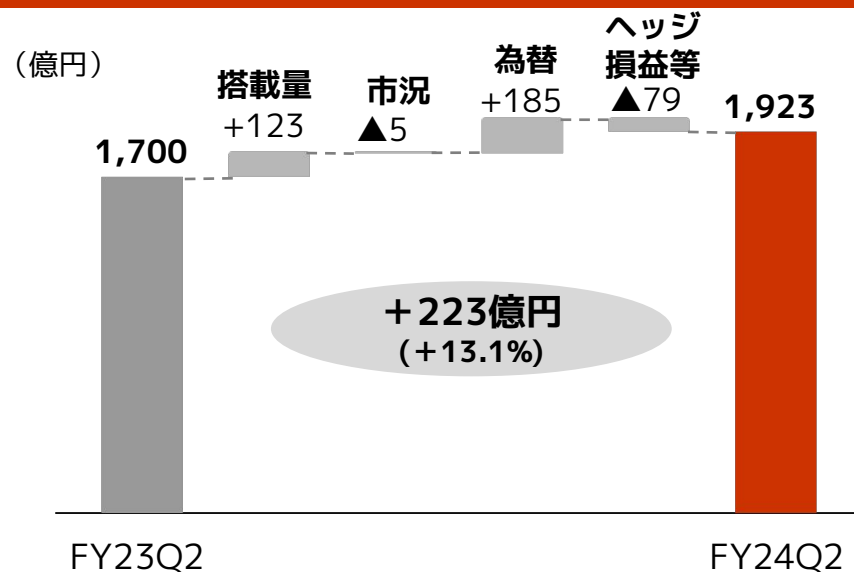
(3) ユニットレベニュー= 旅客収入 ÷ ASK (4) ユニットコスト= (営業費用-旅客収入以外の収入) ÷ ASK (5) ユニットプロフィット=(ユニットレベニュー) - (ユニットコスト)

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

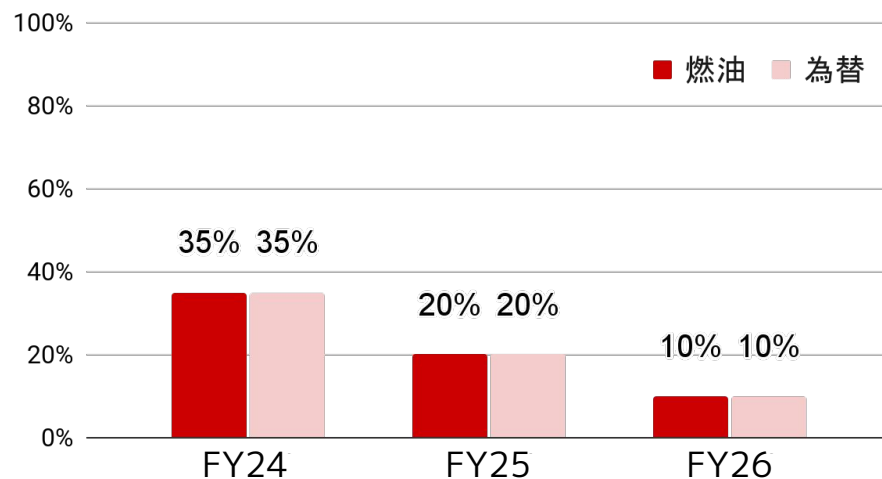
燃油費



燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2024年9月末時点)



燃油ヘッジ

燃油使用量



- 国内線使用量を対象にヘッジを実施、燃油市況変動に対応
- 国際線使用量は燃油サーチャージ収受にて対応

為替ヘッジ

外貨費用



- 国内線使用量の燃油費を対象にヘッジ実施、燃油費における為替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりにより、外貨収入が燃油費を除く外貨費用を上回る

2025年3月期 第2四半期 連結業績詳細

財務状況・キャッシュフロー状況



BS ✓ 格付評価上の自己資本比率39.5%、ネットD/Eレシオ0倍と健全な水準を維持

CF ✓ 航空機投資が拡大する中でフリーキャッシュフローは黒字を維持しつつ、将来の成長投資に向けて、計画的に資金調達を実施

連結財政状態計算書	FY23期末	FY24Q2末	前期末差
総資産	26,492	27,607	+1,115
現金及び現金同等物	7,138	7,506	+367
有利子負債	8,872	9,319	+446
1年内返済	1,069	1,123	+53
自己資本(1)	9,099	9,163	+63
自己資本比率 (%) (2)(5)	34.3% (41.0%)	33.2% (39.5%)	▲1.2pt (▲1.4pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.0x	1.0x	+0.0x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(5)	0.2x (▲0.0x)	0.2x (0.0x)	+0.0x (+0.0x)

(億円)

連結キャッシュフロー計算書	FY23Q2	FY24Q2	前年同期差
営業キャッシュフロー	2,134	1,839	▲294
減価償却費	734	768	+34
投資キャッシュフロー	▲824	▲1,543	▲719
投資・出資額	▲853	▲1,665	▲811
フリーキャッシュフロー (6)	1,309	296	▲1,013
財務キャッシュフロー	▲344	103	+447
キャッシュフロー合計 (7)	965	399	▲565
EBITDA (8)	1,646	1,625	▲21

- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債ー現金および現金同等物)/自己資本
- (5) ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを加味した格付評価上の数値
- (6) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
- (7) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (8) EBITDA=EBIT+減価償却費

1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2025年3月期 第2四半期 業績詳細
3. **参考資料**

参考資料

国際線大路別実績（フルサービスキャリア）



旅客収入				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24 Q2 構成比	FY23Q2比	FY24Q2 構成比	FY23Q2比
米大陸線	40%	+17.0%	39%	+11.6%
欧州線	18%	+14.3%	19%	+8.1%
アジア・オセアニア線	28%	+0.8%	27%	+0.5%
中国線	6%	▲12.1%	7%	▲13.2%
ハワイ・グアム線	8%	+4.2%	8%	▲2.2%
全路線	100%	+8.3%	100%	+4.6%

ASK				
(単位:百万席キロ)	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	9,144	+2.3%	4,625	+1.9%
欧州線	4,077	+17.1%	2,051	+16.3%
アジア・オセアニア線	7,950	▲2.0%	4,006	+0.5%
中国線	1,157	+3.3%	586	+3.3%
ハワイ・グアム線	2,400	+15.1%	1,244	+11.1%
全路線	24,729	+4.2%	12,513	+4.5%

RPK				
(単位:百万人キロ)	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	7,792	+5.4%	3,915	+4.7%
欧州線	3,402	+22.3%	1,778	+17.7%
アジア・オセアニア線	6,294	+0.5%	3,211	+1.7%
中国線	894	+30.5%	482	+17.6%
ハワイ・グアム線	1,899	+12.2%	1,032	+4.8%
全路線	20,282	+7.8%	10,419	+6.3%

有償旅客数				
(単位:千人)	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2比	FY24Q2	FY23Q2比
米大陸線	832	+4.7%	418	+4.2%
欧州線	370	+24.3%	193	+19.5%
アジア・オセアニア線	1,629	+3.8%	831	+6.4%
中国線	464	+32.3%	249	+17.8%
ハワイ・グアム線	324	+15.9%	176	+7.0%
全路線	3,621	+9.9%	1,870	+8.6%

有償座席利用率				
(単位:%)	累計		単独	
	FY24Q2	FY23Q2	FY24Q2	FY23Q2
米大陸線	85.2%	82.7%	84.7%	82.4%
欧州線	83.5%	79.9%	86.7%	85.6%
アジア・オセアニア線	79.2%	77.2%	80.2%	79.2%
中国線	77.3%	61.2%	82.3%	72.2%
ハワイ・グアム線	79.1%	81.1%	83.0%	88.0%
全路線	82.0%	79.3%	83.3%	81.9%

参考資料 航空機一覧



			前期末 2024/3/31			当期末 2024/9/30			増減
			所有	リース	合計	所有	リース	合計	
フルサービスキャリア	大型機	Airbus A350-1000	3	0	3	6	0	6	+3
		Airbus A350-900	11	4	15	11	4	15	0
		Boeing 777-300ER	13	0	13	12	0	12	▲1
		大型機 小計	27	4	31	29	4	33	+2
	中型機	Boeing 787-9	19	3	22	19	3	22	0
		Boeing 787-8	23	0	23	23	0	23	0
		Boeing 767-300ER	16	9	25	16	9	25	0
		中型機 小計	58	12	70	58	12	70	0
	小型機	Boeing 737-800	47	9	56	47	9	56	0
		小型機 小計	47	9	56	47	9	56	0
	リージョナル機	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	0	32	0
		De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	0	5	0
		ATR42-600 / ATR72-600	14	1	15	14	1	15	0
		リージョナル機 小計	51	1	52	51	1	52	0
	貨物機	Airbus A321-200	0	2	2	0	3	3	+1
		Boeing 767-300ER	0	2	2	0	2	2	0
		貨物機 小計	0	4	4	0	5	5	+1
フルサービスキャリア 合計			183	30	213	185	31	216	+3
LCC	Boeing 787-8		8	0	8	8	0	8	0
	Boeing 737-800		0	6	6	0	6	6	0
	LCC合計		8	6	14	8	6	14	0
総計			191	36	227	193	37	230	+3

参考資料

2025年3月期

セグメント別通期連結業績予想

※FY24通期予想は2024年5月2日発表 決算説明会資料より再掲



(単位：億円)	FY24			
	Q1単独	Q2単独	上期累計	通期予想
売上収益	4,240	4,777	9,018	19,300
フルサービスキャリア	3,346	3,770	7,116	15,030
国際旅客収入	1,661	1,745	3,406	7,100
国内旅客収入	1,247	1,557	2,805	5,980
貨物郵便収入	388	409	797	1,670
その他収入	49	57	107	280
LCC	247	288	535	1,150
マイル/金融・コマース	460	525	986	2,230
その他（旅行・受託等）	547	656	1,203	2,900
連結調整額	▲361	▲462	▲824	▲2,010
営業費用	4,061	4,181	8,243	17,750
燃油費	945	978	1,923	4,350
燃油費以外	3,116	3,202	6,319	13,400
その他収支	42	39	81	150
EBIT	221	635	856	1,700
フルサービスキャリア	79	489	568	1,100
LCC	22	55	77	130
マイル/金融・コマース	88	105	194	440
その他（旅行・受託等）	38	▲14	23	120
連結調整額	▲6	▲0	▲7	▲90
純利益	139	358	498	1,000

燃油・為替の市況変動によるQ3以降の利益影響 (ヘッジ、燃油サーチャージ等込み)

(億円)	燃油市況 (USD/bbl)	ドバイ 原油	60ドル	70ドル	80ドル	90ドル
		シンガ ポール・ ケロシン	80ドル	90ドル	100ドル	110ドル
為替 (円/USD)	135円		+120	+100	+70	+40
	140円		+110	+80	+60	+20
	145円		+90	+70	+40	予想前提 ±0
	150円		+100	+60	+30	▲10
	155円		+90	+50	+20	▲20

※本表は、燃油市況（シンガポール・ケロシン）及び為替の変動により、燃油サーチャージ収入及び燃油費が増減することで、当社の今年度10～3月の間の利益がどのように変動するかを示しております。
なお、2025年1月までの燃油サーチャージテーブルは確定しており、これを反映済みです。

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

本資料には、日本航空株式会社（以下「当社」といいます）及びそのグループ会社（以下当社とあわせて「当社グループ」といいます）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点（又はそこに別途明記された時点）において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点（又はそこに別途明記された時点）のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。